

雨よけ夏秋どり栽培における橙系ミニトマトの品種特性

【1 成果の要約】

橙系ミニトマトの雨よけ夏秋どり栽培では、「オレンジキャロル」の収量性に優れ、「ピッコロカナリア」は糖度や外観に優れます。

【2 成果の内容】

表1 生育特性と果実収量の品種間差異 (2013～2014年)

年次	品種	草丈	節間長	平均開花数	最終花房段位	規格別果実収量 (kg/10a)				良果平均一果重 (g/果)
		cm	cm	花/段	段	良果	格外	障害果	総収量	
2013	ピッコロカナリア	467 ab	8.6 a	18.2 b	15.5 ab	3,826	709	829	5,362	10.7
	オレンジチャーム	445 bc	8.3 a	21.7 b	15.0 b	4,140	395	1,412	5,945	12.3
	オレンジパルチェ	426 c	7.2 b	14.0 b	17.3 a	4,816	415	1,070	6,299	13.3
	オレンジキャロル	489 a	8.8 a	30.6 a	15.6 ab	5,652	700	636	6,986	10.9
2014	ピッコロカナリア	—	—	—	—	3,197	394	625	4,216	12.0
	オレンジキャロル	—	—	—	—	3,877	690	1,259	5,770	11.0

表2 雨よけ夏秋栽培での橙系ミニトマトの糖度推移 (2013～2014年)

品種	果実Brix(%)									
	2013年					2014年				
	8/8	8/21	9/12	10/15	計	7/24	7/31	8/27	9/4	計
ピッコロカナリア	9.3 a	10.1 a	8.5 a	7.8 a	8.9±1.0 a	8.9	9.1	9.1	8.7	8.9±0.7
オレンジチャーム	8.2 b	9.4 b	7.8 ab	7.5 b	8.2±0.9 b	—	—	—	—	—
オレンジパルチェ	7.5 b	8.4 c	7.6 b	6.9 b	7.6±0.7 c	—	—	—	—	—
オレンジキャロル	9.5 a	9.1 b	7.8 b	7.6 a	8.5±1.0 ab	8.1	9.6	8.3	8.4	8.5±0.7
	T-test					**	*	**	n. s.	***



写真 果実外観
 上段：ピッコロカナリア
 下段：オレンジキャロル

【3 留意事項】

- (1) 作型は5月上旬定植とし、ロックウールを用いた養液栽培により得られた成果です。
- (2) 本試験では、各花房とも放任とし果数制限は行っていません。
- (3) 供試品種はいずれも青枯病、葉かび病および斑点病に罹病性であるため、必要に応じて対策を講じる必要があります。

【4 適応対象】

県内全域